

学校名	加須市立不動岡小学校
所在地	埼玉県加須市不動岡798
電話	0480-61-2611

1. 本校の概要

明治6年に不動岡総願寺に設立された歴史の古い学校で、市街地の西端に位置する。公民館、市立図書館、不動岡公園、不老荘などの文化施設が隣接し、教育上恵まれた環境にある。地域の人々の学校に対する期待も大きく協力的である。児童数291名、学級数11、教職員19名の小規模校である。

2. 本校の実践の概要

(1) 本校の実践の特色

読書は、子どもたちの豊かな情操と生きる力を育むものである。本校では、本と子どもたちとの様々な出会いの場をつくり、読書意欲を高めたいと考えた。

① 「夢タイム」

週1回（木曜日8：15～8：35）全校一斉に好きな本を読む。

② 「お話し会」

低学年を対象に月1回（第3木曜日8：15～8：35）地域ボランティアによるストーリーテリングを行う。

③ 校内読書週間

- ・毎日読書
- ・読書郵便
- ・親子読書
- ・読書標語作り



- ・読書感想文の発表 <お話し会>
- ・本の紹介「わたしのすすめる一さつ」
全児童の紹介文を学級の廊下に掲示
- ・お話しひろば保護者による読み聞かせや紙芝居、パネルシアター

④ やさしさいっぱい夢いっぱい集会

図書委員会による読書クイズ・紙芝居・

本の紹介・読書の表彰などを行う。

(2) 家庭・地域との連携

心豊かな子どもたちを育成するための『彩の国5つのふれあい県民運動』や『5つのふれあい市民運動』を受け、本校では家庭や地域と連携を図りながら、本に親しむ子どもを育てたいと考えた。

① 親子読書

親子で同じ本を読んだり読み聞かせを行ったりして、感想を交流する。

② 公共図書館との連携

全児童が市立図書館の利用カードを持っている。個人、グループ、学級、学年で自由に利用する。主体的な学習を支える。

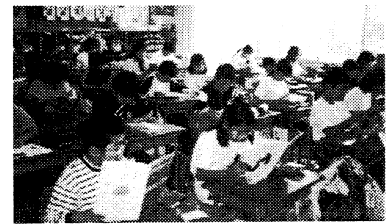
③ ボランティアの活用

地域ボランティアや保護者の協力によりストーリーテリング、読み聞かせ、紙芝居、パネルシアターなどを行う。

3. 成果と今後の課題

(1) 「夢タイム」

が定着し、時間が来れば自然に本を取り出し読み始



<夢タイム>

める子どもたち。「お話し会」では、いつの間にかお話の世界に引き込まれ、語り手に視線が集まる。お話が終わると大きな拍手。同じ本を図書館で見つけて読む子や、「次はどんなお話かなあ。」と、楽しみにしている子が多い。

(2) 高学年になると活動範囲が広くなり、読書離れという現象も見られるようになる。図書館に自然に足が向くような環境整備と、さらに家庭や地域との連携を図りながら読書の場を設定することで、読書の楽しさを味わわせていきたい。